

## 1 市の概要（H30年度）

人口	80,314人
保護率	0.97%

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	20.2
プラン作成件数人口10万人当たり(件)	一月当たり	3.3
就労支援対象者数人口10万人当たり(件)	一月当たり	1.5
就労・増収率(%)		50.0

## 4 事業実績（H30年度）

利用者	就業者	
	福祉就労へのつなぎ	就労支援へのつなぎ
生活困窮者7人、被保護者19人	0	生活困窮者5人 生活困窮者4人

## 5 事業実施のポイント ～法人の独自事業を活用した豊富な中間就労の場～

- 法人が独自に経営また事業を行う居酒屋やカフェレストラン、何でも屋さん（寺の清掃、家財処分、ポスティング、除雪等を有償または無償で行う事業）を活用し、利用者のニーズに応じた就労トレーニングを実施

## 3 実施方法について

実施方法	委託（NPO法人With優） ・単年契約 ・随意契約 ※被保護者就労準備支援事業との一体的実施
事業費	7,001千円（困窮者：3,575千円、被保護者：3,426千円）
理由（委託）	・学校に行けない、行かないことを選択した子どものためのフリースクールや社会の中で生きにくさを抱えた青年が社会復帰のためにトレーニングを行うカフェレストラン、会員制居酒屋などの事業を行っており、自立に向けた支援のノウハウを持っていたため。
事業概要	・就労準備支援員2名（困窮者、被保護者各1名）を配置。 ・生活自立、社会自立、就労自立に向けて対象者の状況に応じた支援プログラムを策定し、就労可能性を高めていくことを目的として支援を行う。 ・法人の独自事業（居酒屋、カフェレストランなど）を活用したプログラムの実施。 ・就労能力を高めるためのパソコン教室や自炊を苦手とする一人暮らしの男性のための調理教室（男のランチ会）、社会性を高めるための地域の清掃ボランティアなど幅広いプログラムの中から個々に合った支援内容を選択できる。



## 6 取り組んで良かったこと

- ・ さまざまなトレーニング内容から利用者の適性を間近で見定めることができ、一般就労に向けた支援がしやすくなった。
- ・ 利用者の生活習慣の改善や就労意欲の向上に役立っている。
- ・ 支援者とだけでなく、他利用者ともコミュニケーションを図ることで社会性を身に付けることができている。